

# 芸閣

～図書館だより～

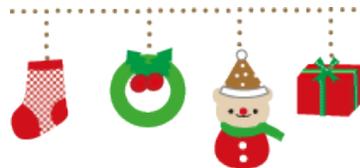
第7号  
2017年12月  
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。  
書庫、書斎という意味です。  
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)

## どうぞ よいお年を…

12月になると、町にはクリスマス・ソングが流れ、なんとなく気ぜわしくなってきました。「師走」という12月の異称は、学校の先生まで走る月というふうに現在では解釈されていることありますが、もとは禪師、つまり偉いお坊さんも忙しさのため走り回る、という意味でした。年内に仕事の区切りをつけたり、大掃除をしたりして新しい年を迎える準備をしますが、これほど年越しに力を入れるのは、日本ぐらいたそうです。

さて、この1年、どんな本を読みましたか。いつまでも心に焼きついて消えないような、素晴らしい本と出会えたでしょうか。来年も、是非よい年にしたいですね。



### 図書館員おすすめの本

#### 中原中也詩集 (新潮文庫)

中原中也は日本を代表する詩人で、没後半世紀以上たった今でも彼の詩は多くの人々に愛されている。彼のことを殆ど知らない人でも、例えば、『汚れつちまつた悲しみに……』といった有名な作品は耳にしたことがあるだろう。

中也の詩は比較的簡単な、やわらかい言葉で綴られていて、また、そこで歌われている感情も普遍的なものが多く読む人の心にすうっと沁み込んでくる。

中也の詩で特徴的なのはそのリズムだ。彼の詩には音楽がある。

詩は、その言葉自体に響きを持つもので、彼の詩の場合、それぞれの言葉が呼応しあって一つの詩、音楽を生み出しているような美しい流れがある。例としては、『サーカス』、『月夜の浜辺』、『春日狂想』などがおすすめで、どれもこの「中原中也詩集」に収録されているので、ぜひ言葉から音楽が生まれる感覚を味わっていただきたい。

中也は、三十年という短い生涯の内に、二冊の詩集『山羊の歌』と『在りし日の歌』を遺した。この本にはその二つの詩集に加え、それらの中には編まれることがなかった詩の数々も、『未刊詩篇』として収められている。彼のことを、詩を通じて知るにはうってつけた。

彼の中の詩は、彼の幼少期の弟亜郎の死によって目覚める。そんな中也が〈生と死〉について歌い、紡ぎだす、繊細で、美しい世界…その裏側に潜む熱情…詩を読めば、それらと彼の人間性に、きっと惹かれずにはいられない。

2A 西川

# 新しく入った本の紹介

## 小説

- 『ホワイトラビット』伊坂幸太郎 新潮社  
『異人館画廊 1～4』谷瑞恵 著 集英社  
『明日の空』貫井徳郎 著 東京創元社  
『キノの旅2 1』時雨沢恵一 著 KADOKAWA  
『図書館の魔女』高田大介 著 講談社  
『ふたご』藤崎彩織 著 文藝春秋  
『鶏小説集』坂木司 著 KADOKAWA  
『教場0』長岡弘樹 著 小学館  
『ガダラの豚』中島らも 著 集英社  
『優しい死に神の飼い方』知念実希人 著 光文社  
『みんなのうた』重松清 著 角川書店  
『MM』市川拓司 著 小学館  
『崩れる脳を抱きしめて』  
知念実希人 著 実業之日本社



## なるにはブックス

- 『言語聴覚士になるには』中島匡子 著  
『義肢装具士になるには』益田美樹 著  
『保健師・養護教諭になるには』山崎京子 著  
『助産師になるには』加納尚美 著  
『歯科医師になるには』笹田久美子 著

## ブルーバックス

- 『お茶の科学』大森正司 著  
『古生物たちの不思議な世界』土屋健ほか 著  
『時空のからくり』山田克哉 著  
『海に沈んだ大陸の謎』佐野貴司 著  
『曲がった空間の幾何学』宮岡礼子 著  
『重力波で見える宇宙のはじまり』  
ピエール・ビネトリユイ 著  
『DNAの98%は謎』小林武彦 著  
『現代暗号入門』神永正博 著  
『Javaで始めるプログラミング』高橋麻奈 著



## からだに関する本



- 『ヨガが丸ごとわかる本』  
Yogini編集部 編 エイ出版社  
『ねこ背を治す教科書』伊東稔 著 ソーテック社  
『うつも肥満も腸内細菌に訊け!』  
小澤祥司 著 岩波書店  
『眼ヨガ 龍村式ヨガ健康法』  
龍村修 著 日貿出版社

## その他

- 『ピクトさんの本』  
内海慶一 著 ビー・エヌ・エヌ新社  
『ギネス世界記録2018』KADOKAWA  
『人がいじわるをする理由』  
ドゥニ・カンブクネ 著 岩崎書店  
『8年越しの花嫁 キミの目が覚めたなら』  
中原尚志・麻衣 著 主婦の友社  
『働くってどんなこと?』  
ギヨーム・ル・ブラン 著 岩崎書店



## 図書館講座ご案内

### 博物館へ行こう!

日時：12月21日(木)  
13:30~15:30  
場所：和歌山県立博物館  
内容：博物館学芸員の仕事  
博物館見学(展示のほか、博物館のバックヤードも見学)

参加申込み切は14日でしたが、まだ少し人数に余裕があります。  
参加希望者は19日までに図書館へ!